

みずほCustomer Desk Report 2016/08/10 号(As of 2016/08/09)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	102.39 AUD/USD
TKY 9:00AM	102.28	1.1085	113.40	0.9827	1.3030	0.7660
SYD-NY High	102.53	1.1123	113.62	0.9843	1.3046	0.7687
SYD-NY Low	101.79	1.1071	113.06	0.9812	1.2956	0.7622
NY 5:00 PM	101.90	1.1118	113.26	0.9817	1.3003	0.7673
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	9.19/9.63	△25RR	1.180	Yen Call Over		

NY DOW	18,533.05	3.76	債券市場	日本2年債	-0.1870	▲1.7bp
NASDAQ	5,225.48	12.34		日本10年債	-0.0770	▲3.8bp
S&P	2,181.74	0.85		米国2年債	0.7100	▲1.6bp
日経平均	16,764.97	114.40		米国5年債	1.1072	▲3.7bp
TOPIX	1,317.49	11.96		米国10年債	1.5470	▲4.5bp
シカゴ日経先物	16,695	40.00	為替市況	独10年債	-0.0760	▲1.1bp
ロンドンFT	6,851.30	42.17		英10年債	0.5820	▲3.0bp
DAX	10,692.90	260.54		豪10年債	1.9380	▲1.6bp
ハンセン指数	22,465.61	▲29.15		USD/CNH	6.6618	▲0.0067
上海総合	3,025.68	21.40		ドルインデックス	96.18	▲0.22
USDJPY 3M Vol	11.63	0.31%	商品市況	CRB指数	181.430	▲1.36
USDJPY 6M Vol	11.06	▲0.07%		NY金	1,346.700	5.40
EURJPY 3M Vol	11.57	0.23%		WTI	42.770	▲0.25
EURJPY 6M Vol	11.42	0.01%		Dubai Spot	-	-

【昨日の指標等】

Date	Time	中	Event	結果	予想
8月9日	10:30	中	GPI/PPPI(前年比)	7月 1.8%/-1.7%	1.8%/-2.0%
	15:00	独	貿易収支/経常収支	6月 24.9B/26.3B	23.0B/23.0B
	17:30	英	鉱工業生産(前月比/前年比)	6月 0.1%/1.6%	0.1%/1.6%
	17:30	英	製造業生産(前月比/前年比)	6月 -0.3%/0.9%	-0.2%/1.3%
	17:30	英	貿易収支	6月 -£5084M	-£2550M
	21:30	米	非農業部門労働生産性・速報値	2Q -0.5%	0.4%
	23:00	米	卸売在庫(前月比)	6月 0.3%	0.0%

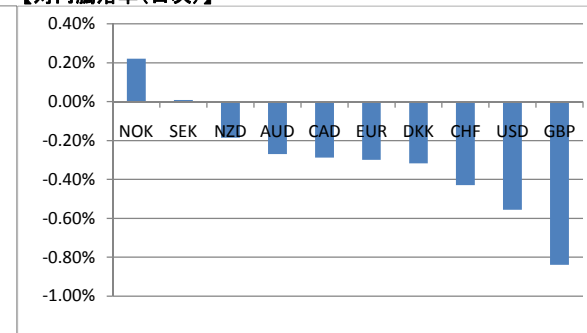
【本日の予定】

Date	Time	中	Event	予想	前回
8月10日	8:50	日	機械受注(前月比/前年比)	6月 3.2%/-4.5%	-1.4%/-11.7%
	12:05	豪	スティーブンスRBA総裁講演	-	-
	20:00	米	MBA住宅ローン申請指数	-	-3.5%
8月11日	6:00	NZ	RBNZ政策金利発表	2.00%	2.25%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	101.50-102.30	1.1080-1.1160	112.80-113.80

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外市場のドル円は小幅に下落した。アジア時間に102円台前半で揉み合い推移していたドル円は、102.46付近で海外市場入り。主要通貨に対しドル売りが強まる中、ドル円はやや上値を重く推移していたが、米国時間に発表された米非農業部門労働生産性が市場予想を大きく下回る結果となり、米金利が低下する動きに101.81まで下落した。その後も米株式市場が一時下げに転じたことで101.79まで下げ幅を伸ばし、結局101.90付近でクローズしている。本日のドル円は動意に乏しい展開を予想。昨日はややドル売り優勢の展開となったものの、グローバル株式市場は比較的堅調且つ目立った材料も乏しい中、方向感が出づらい。夏休みシーズンの到来に連れ、夏枯れ相場の様相も呈してきている中、ドル円も既往レンジ内での推移に留まろう。

東京	東京時間のドル円は102.28レベルでオープン。特段材料に乏しい中、ドル買い優勢の流れとなると一時102.50近辺まで上昇。しかし前日高値(102.66)を試すような手掛かりもなく、力なく反落すると徐々に102円台前半まで押し戻される展開。中国7月CPI/PPPIが発表されるも、ほぼ事前予想通りの結果にマーケットへの影響は極めて限定的となった。その後、ドル円は102.35近辺で揉み合い推移が続いていたが、午後に入り日経平均株価が小幅に上昇し前日比100円超値を上げて引けたことなどを背景に、再度102円台前半まで上昇して、102.46レベルで海外市場に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン時間のドル円は終始軟調に推移する展開。朝方は102.46レベルでオープン。ユーロドルの上昇を中心にドルが全般的に売られるとドル円の上値も重く、その後ユーロドルが高値から反転するとユーロ円の売り圧力も強まった。同時にドル円もストップオーダーを巻き込みながらつれ安となり、102.26レベルでNYへ渡った。ポンドドルは1.29台後半から1.30台前半まで方向感に欠ける推移となった。朝方は1.2989レベルでオープンし、ロンドン時間序盤の全般的なドル売りを背景に一時1.30台前半まで値を伸ばしたがすぐに反落し、1.2975レベルでNYへ渡った。英6月鉱工業生産は前月比+0.1%と市場コンセンサス通り、また英6月貿易収支は-508.4億ポンドと市場コンセンサス(-255.0億ポンド)を上回る赤字幅となったものの、市場への影響は限定的だった。(ロンドン・タイムズ 日比野0531 444 179)
ニューヨーク	NY時間のドル円相場は102.26レベルでオープン。朝方に発表された第2四半期の非農業部門の労働生産性が予想外の低下を示し、3四半期連続でマイナスとなったことをきっかけに、為替市場ではドル売りが優勢となった。その後、米債利回りの低下が続いたことがドル円の圧迫材料となり、102円を割込むと101.81まで下落し、前日の上げ幅を失う格好となった。午後に入り、ダウが小動きながらも最高水準での推移が続いたことで、ドル円は底堅さを維持したものの、102円台にしっかりと乗せられず101円台後半の取引が続いた。終盤にかけて、次第に商いは薄くなり様子見ムードが強くなる中、ダウが下げに転じたことで、ドル円も一時101.79まで下値を広げたが、下押しの動きは限定的で101.90レベルで海外市場へ渡った。一方、ユーロドルは1.1078レベルでNYオープン。米労働生産性が予想外のマイナスだったことを受けて、ドル売りが強まったことがユーロドルの買い戻しに繋がりが、ユーロドルはストップを巻き込みながら一時1.1123まで上昇した。その後は次の材料探しといった雰囲気強く、ユーロドルは1.11台前半での狭い範囲内での振幅が続き、1.1118レベルで海外市場へ渡った。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 高野・西谷